

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学VI①(疼痛)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	901教室
担 当 教 員	増井 健二				
実務経験と その関連資格	<p>1999年より理学療法士として一般病院にて入院・外来・訪問の運動器リハビリテーションを中心に23年間の臨床経験を有する。術後の急性疼痛や外来の疼痛性疾患の急性・慢性疼痛患者(年間約60例)の臨床に従事。</p> <p>一方、2007年 米国セントオーガスティン大学の徒手理学療法認定試験を取得し、2011年 指導者資格を取得し我国の卒業理学療法士に対し徒手理学療法講習会指導に従事。</p> <p>2021年 日本理学療法士協会 認定理学療法士(徒手理学療法)取得。</p> <p>2022年 日本理学療法士学会連合 日本筋骨格系徒手理学療法研究会 理事としても活動。</p> <p>症例報告を中心に国内学会に11題、国際学会に2題、論文2題、書籍執筆(共著)1題。</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>① 急性疼痛を呈する方に対する理学療法について説明できる</p> <p>② 慢性疼痛を呈する方に対する理学療法について説明できる</p>					
《成績評価の方法と基準》					
筆記テスト:80点、小テスト:20点、合計100点 (小テストは4回実施。各回5点。欠席時は原則0点とする。)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<ul style="list-style-type: none"> ・田口敏彦,飯田宏樹,牛田享宏(監修):疼痛医学,医学書院,2020 ・Jenny Strong他(編),熊澤孝朗(監訳):痛み学-臨床のためのテキスト-,名古屋大学出版会,2010 					
《授業外における学習方法》					
解剖学、生理学などの関連領域の復習、配布資料の復習					
《履修に当たっての留意点》					
急性疼痛・慢性疼痛を呈する方への理学療法を理解するための講義と、腰痛を想定した評価と治療実技を学習します。学生の積極的な授業への参加と理解を促すための講義演習(グループでの小テスト前学習)と小テスト、実技練習を行う予定です。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	疼痛について興味を持ち、定義や機序を理解する	配布資料	神経生理学・疼痛の復習	
	各コマにおける授業予定	講義1/5 疼痛に対する理学療法総論60分 演習15分、小テスト5点10分			
第2回	授業を通じての到達目標	急性・慢性腰痛を想定した姿勢と自動運動の評価実技を体験し理解を深める。	配布資料	腰椎の機能解剖学の復習	
	各コマにおける授業予定	実技1/3 姿勢評価、自動運動評価			
第3回	授業を通じての到達目標	臨床推論という概念を知り、その重要性を理解する。	配布資料	特になし	
	各コマにおける授業予定	講義2/5 臨床推論 60分			
第4回	授業を通じての到達目標	腰痛に対する臨床推論を実践するための原因組織の特徴を理解する。	配布資料	腰椎の機能解剖学の復習	
	各コマにおける授業予定	講義3/5 腰痛の原因組織 60分 演習15分、小テスト5点10分			
第5回	授業を通じての到達目標	疼痛と機能不全の関連を理解し、徒手理学療法の理論背景を理解する。	配布資料	生理学・解剖学	
	各コマにおける授業予定	講義4/5 徒手理学療法総論60分 演習15分、小テスト5点10分			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	急性・慢性腰痛を想定した他動運動の評価実技を体験し理解を深める。	配布資料	腰椎の機能解剖学や触診の復習
	各コマにおける授業予定	実技2/3 他動運動評価・治療		
第7回	授業を通じての到達目標	急性・慢性腰痛を想定した治療実技を体験し理解を深める。	配布資料	腰椎の機能解剖学や触診の復習
	各コマにおける授業予定	実技3/3 治療		
第8回	授業を通じての到達目標	急性・慢性疼痛の特徴を理解しその理学療法を理解する。	配布資料	授業配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	講義5/5 急性疼痛・慢性疼痛に対する理学療法60分 演習15分、小テスト5点10分		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			